

令和5年度金沢市中期財政計画

多様化する市民ニーズに応え得る財政体質を将来にわたり維持していくため、中長期的な健全財政運営の指針となる中期財政計画を策定し、毎年度の情勢の変化を反映し、時点修正を行う。

1. 今後の財政見通し

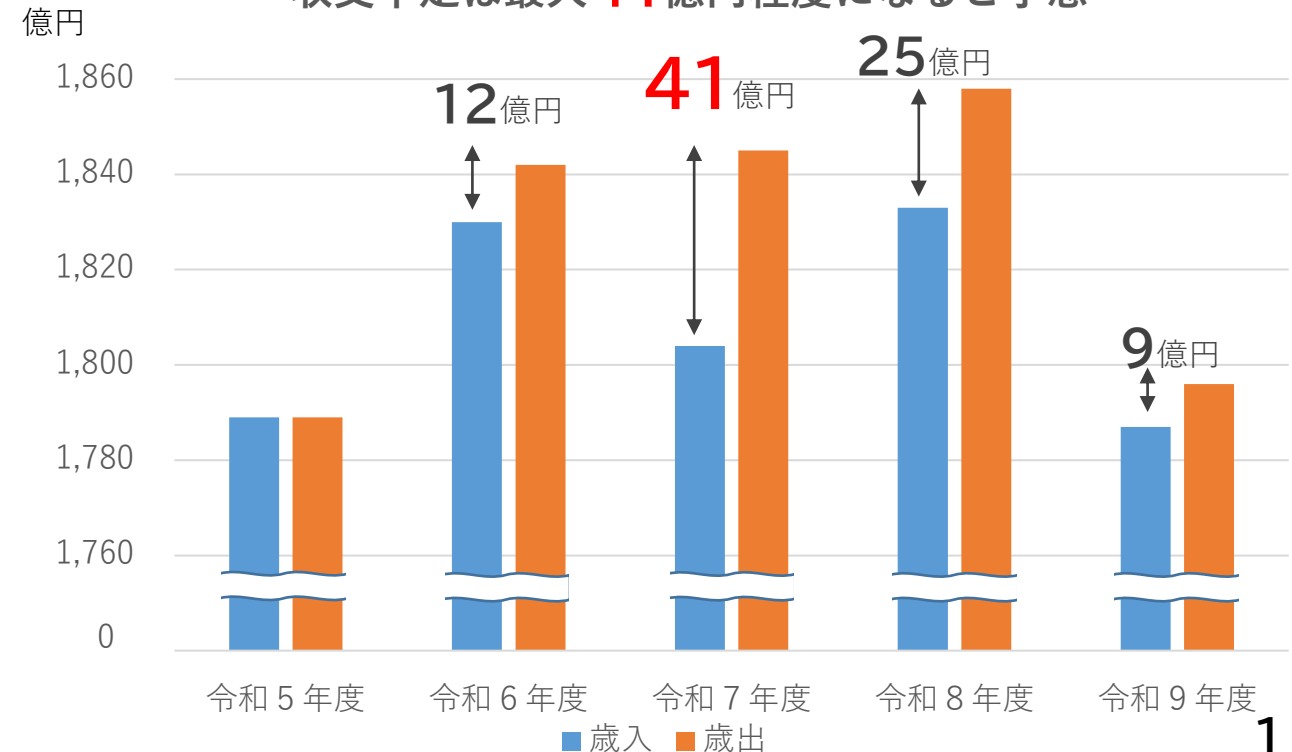
(1) 試算にあたっての主な修正点

- **一般行政経費（物件費等）**
物価上昇等の影響を試算（R5比+2%）
- **社会保障関係費（扶助費等）**
高齢社会の進展状況を踏まえ個別に試算
- **公共事業費**
R5予算や公共施設等総合管理計画の見直しを踏まえ、老朽化対策や重要既定計画事業を個別に試算
- **公債費**
R5予算を踏まえ個別に試算
- **一般財源（市税+交付税）**
近年の地方財政計画を参考に試算（R5比+1.2%）
- **その他の歳入・歳出項目**
前年同規模として試算

(2) 試算

物価上昇による影響のほか、社会保障関係費や公共施設の再整備等にかかる経費が増加

収支不足は最大**41**億円程度になると予想



2. 健全財政運営のための指針と中期財政計画(時点修正)

(1) 健全財政運営のための指針

計画期間中の適正な予算収支の確保

- ✓ 繰上償還：毎年**10億円**
- ✓ 公共事業費(経常フレーム)：R5予算比**10%**削減
- ✓ 一般行政経費(義務的経費除く)：R5予算比**2%**削減

基金の有効活用

- ✓ 特定目的基金の**計画的な積立て、取崩し**により、一般財源所要額を平準化

公共事業費規模の適正化

- ✓ 中核市平均(約150億円)を上回る**200億円**程度を確保

各種財政指標の健全性堅持

- ✓ 実質公債費比率、経常収支比率、市債残高等の各種財政指標について、中核市平均水準を確保
- ✓ 必要に応じ繰上償還の前倒し等により健全性を堅持

物価高騰対策等の追加需要への対応

- ✓ 国財政支援や繰越金等を活用し補正予算等で柔軟に対応
次に掲げる取り組み等を通じて財源を確保

その他の取り組み事項

- ✓ 行財政改革の徹底
- ✓ 施策の重点化と質的な充実
- ✓ 市単独扶助費の適正化
- ✓ 市民協働と広域連携の推進
- ✓ 民間活力の活用・導入
- ✓ DXアクションプランの実践
- ✓ 特別会計・企業会計の整理と経営健全化
- ✓ 外郭団体改革の推進
- ✓ 市税等収納率の向上

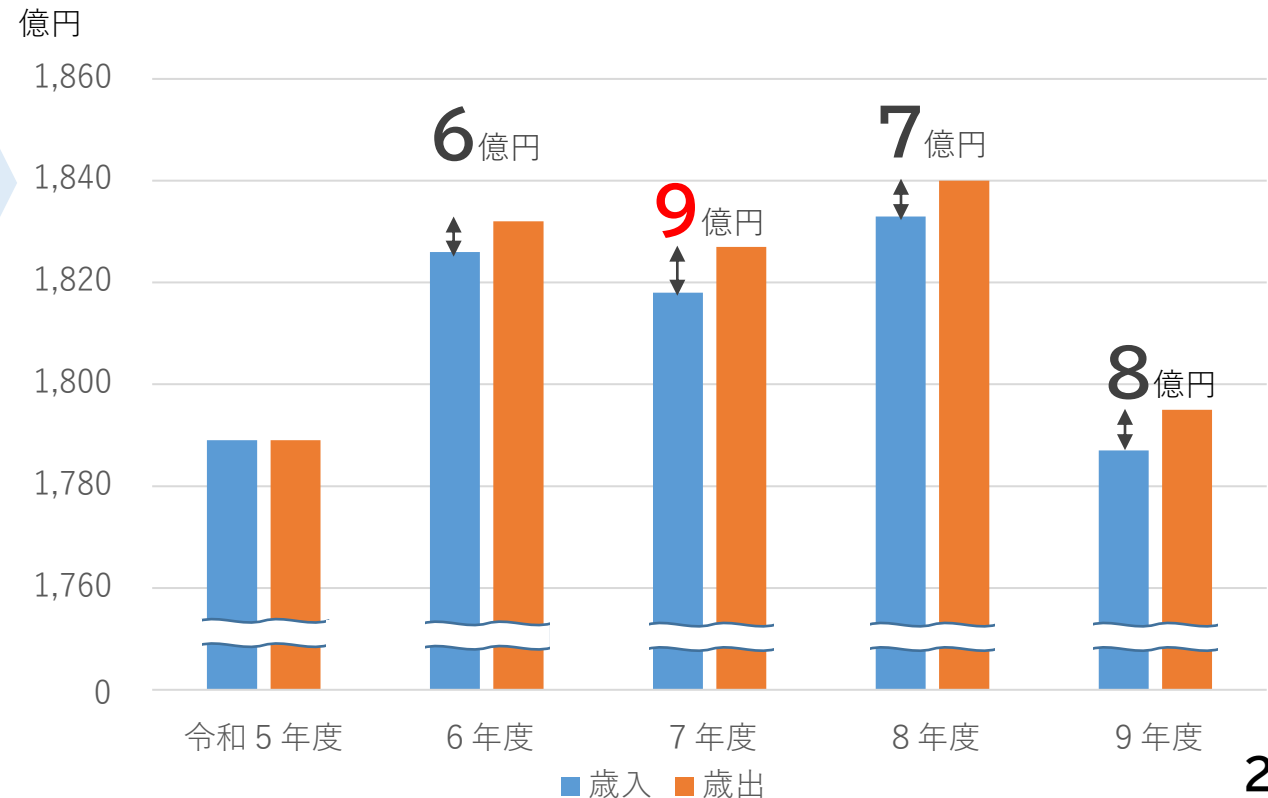
(2) 中期財政計画(時点修正)

・収支不足を圧縮 最大41億円 → 最大**9** 億円

各種財政指標の健全性を堅持

実質公債費比率 2~4%台 (中核市※ 5%) ※R4決算平均値
経常収支比率 91~92%台 (中核市※ 92%)
市債残高 2,122億円(R5)から逡減 (中核市※ 1,364億円)

・公共事業費規模の適正化 約**208** 億円(5カ年平均)



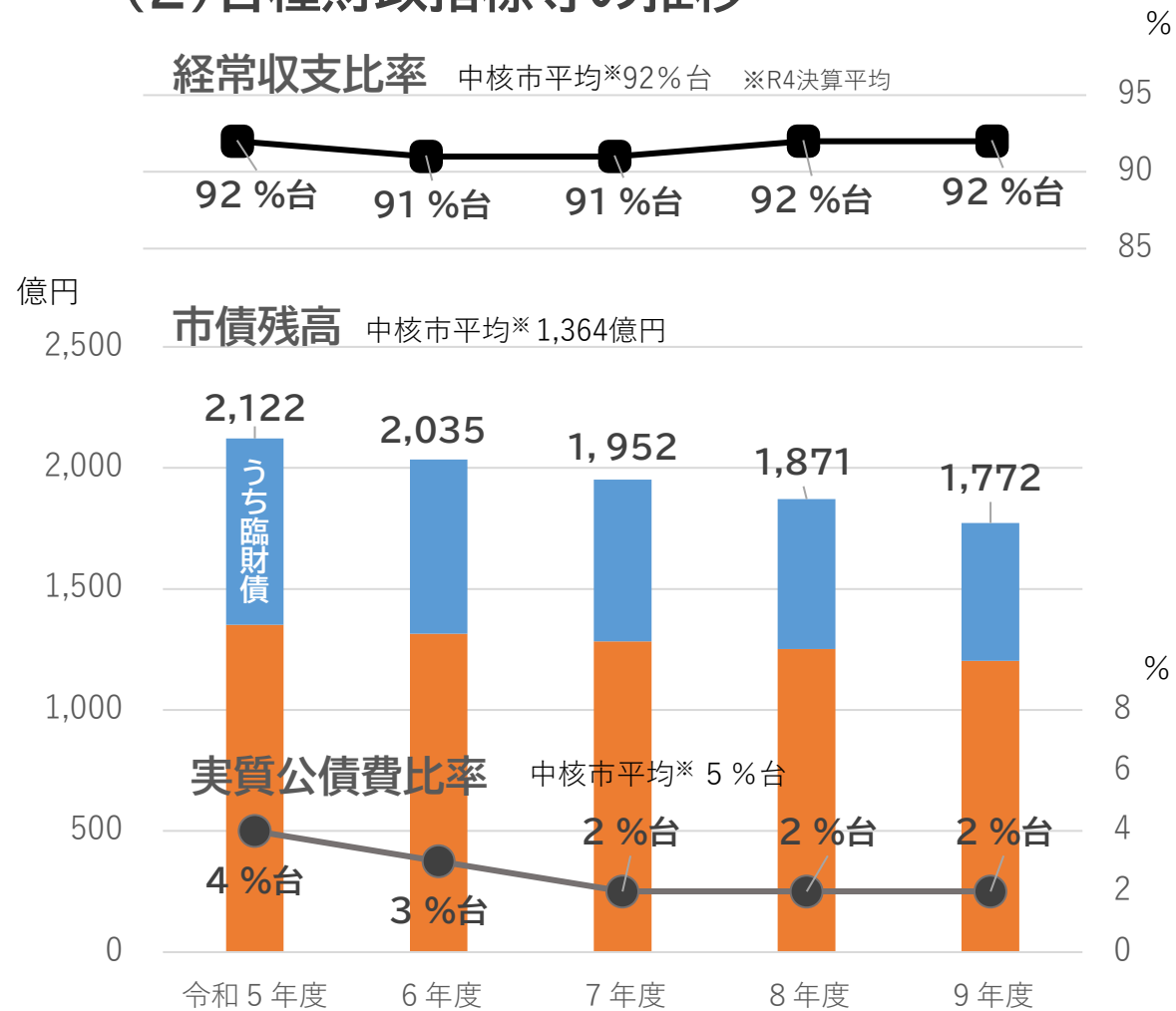
参考資料

(1) 中期財政計画(時点修正)の項目別の数値

| 項目 | | 令和5年度 (※) | 6年度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 |
|----|----------|--------------|-------|-------|-------|-------|
| 歳入 | 税・交付税 | 1,123 | 1,151 | 1,156 | 1,151 | 1,145 |
| | 国・県支出金 | 452 | 463 | 464 | 458 | 460 |
| | 市債 | 84 | 100 | 99 | 114 | 79 |
| | その他 | 130 | 112 | 99 | 110 | 103 |
| | 計 | 1,789 | 1,826 | 1,818 | 1,833 | 1,787 |
| 歳出 | 職員費 | 242 | 246 | 242 | 250 | 241 |
| | うち退職手当 | 10 | 14 | 9 | 18 | 9 |
| | 一般行政経費 | 907 | 913 | 925 | 926 | 930 |
| | うち扶助費 | 506 | 512 | 518 | 524 | 527 |
| | 投資的経費 | 199 | 238 | 225 | 211 | 169 |
| | うち経常フレーム | 88 | 79 | 79 | 79 | 79 |
| | 公債費 | 191 | 178 | 173 | 185 | 168 |
| | その他 | 250 | 257 | 262 | 268 | 287 |
| | 計 | 1,789 | 1,832 | 1,827 | 1,840 | 1,795 |
| | 収支不足額 | | 0 | △6 | △9 | △7 |

(※) 令和5年度は、当初予算から特別枠（新型コロナウイルスワクチン予防接種費などの臨時的経費）を除いた実質の当初予算額

(2) 各種財政指標等の推移



経常収支比率：税・交付税など経常的収入が経常的な支出に充当される比率で財政の弾力性を判断する指標
 実質公債費比率：公債費や公営企業債等の償還に充当した繰出金などによる財政負担の度合いを判断する指標